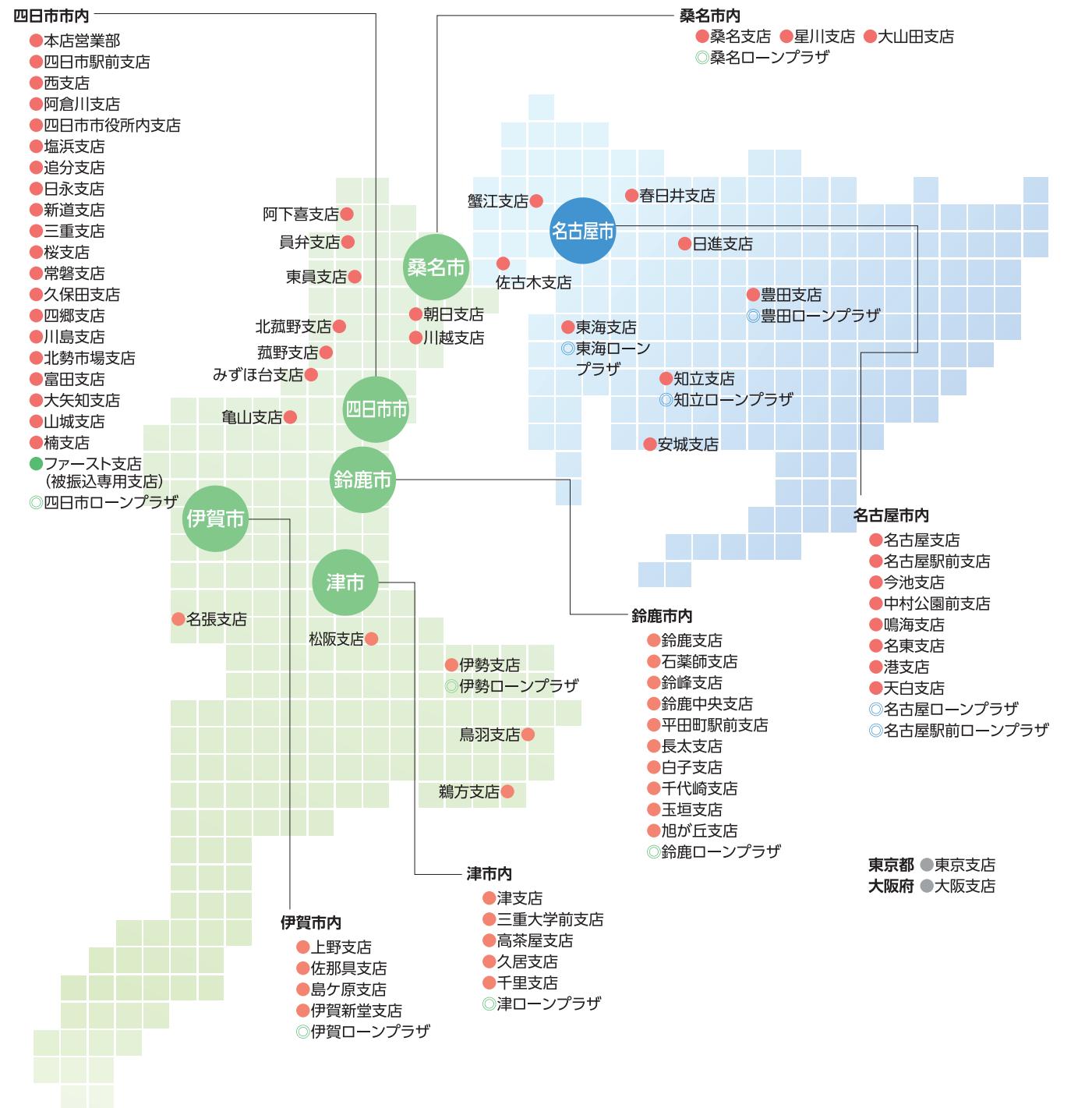


## 店舗ネットワーク



各店舗の  
地図・連絡先は  
こちら



バーコード読み取り対応の携帯電話・スマート  
フォンでご利用いただけます。(一部ご利用  
いただけない機種もございますので、ご留意  
ください。)

	三重	愛知	東京	大阪	計
支店	57	16	1	1	75
ローンプラザ	6	5	—	—	11
(2017年7月1日現在)					



## Contents

頭取インタビュー	02
お客さま、地域とともに	06
株主とともに	14
従業員とともに	14
経営統合について	16
業績ハイライト	18
組織図	24
役員、会計監査人	25
当行のあゆみ	25
店舗一覧	26
グループの概要	28
店舗ネットワーク	裏表紙

## Profile

商 号 株式会社 三重銀行  
本店所在地 三重県四日市市西新地7番8号  
設 立 1895年11月15日  
資 本 金 152億円  
総 資 産 1兆9,697億円  
資 金 量 1兆7,602億円  
貸 出 金 1兆3,811億円



本店 外観

# 経営理念

## 地域とともに発展する銀行

## お客さまとともに栄える銀行

## 株主・従業員とともに歩む銀行



会長 種橋 潤治 頭取 渡辺 三憲

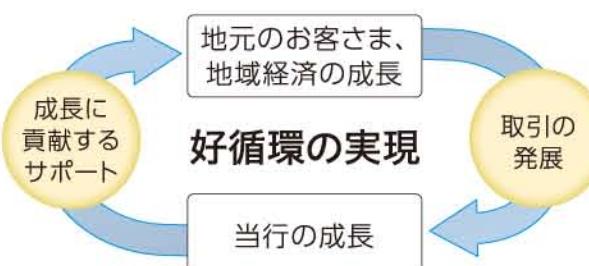
# 中期経営計画

## 成長～地域とともに～ (2015年4月～2018年3月)

### 目指す姿

地元で確固たる存在感を示し、  
成長し続ける銀行

### コンセプト



### ごあいさつ

日頃より私ども三重銀行をご利用、お引き立ていただき誠にありがとうございます。

三重銀行は1895年の創業以来、地域のみなさまとともに歩む「地元の銀行」として、地域社会の発展とともに今日の基盤を築いてまいりました。これもひとえにみなさまの暖かいご支援の賜と心より感謝いたしております。

私どもは日頃から、ひとりでも多くの方に、より深く三重銀行のことを知っていただきたいと考えております。みなさまのご理解を一層深めていただくために、「三重銀行の現況 MIEBANK REPORT 2017」を作成いたしました。当行の考え方や取組み、最近のトピックス、業績などについて、できるだけわかりやすくご説明させていただくことを心がけております。

三重銀行は、積極的なディスクロージャーにより経営の透明性を保ち、さらなる企業価値の向上に取り組んでまいります。今後とも一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2017年7月

◀ SPコード  
SPコードは、文字情報を音声情報に変換して記録するコードです。1.8cm角で800文字程度の情報を記録し、専用読み取り装置を利用して音声で聞くことができます。



# 頭取インタビュー

頭取 渡辺 三憲  
わた なべ みつ のり



## お客さまとの リレーションを構築し、 最適なソリューションを 提案する

### 「お客さま、地域経済の成長」と 「当行の成長」の好循環を実現する

#### ■中期経営計画は最終年度となりましたね。

3年間の中期経営計画「成長～地域とともに～」(2015年4月～2018年3月)は最終年度となり、仕上げの段階となりました。中期経営計画では、目指す姿を「地元で確固たる存在感を示し、成長し続ける銀行」としています。

これは、「お客さま、地域経済の成長」と「当行の成長」の好循環を実現したいという思いを込めており、お客さま、地域経済の成長に貢献することで、当行が地元でなくてはならない銀行として、存在感を示すことができると考えています。

### リレーションとソリューション

#### ■お客さまとともに成長していくために必要なことは、どのようなことですか。

「リレーション」と「ソリューション」という言葉を職員に繰り返し伝えています。つまり、お客さまとともに成長していくためには、お客さまとの深いリレーションを構築し、日々の会話の中からお客さまの課題・ニーズ等をお聞きし、最適なソリューションを提案することが重要であると考えており、その為に計画期間中様々な施策を取り組んできました。

### フルバンキング化による 質の高い金融サービスの提供

#### ■具体的にどのようなことを取り組まれていますか。

リレーションの構築とソリューションの提案のための体制づくりとして順次進めてきたのが、1つの店舗でご融資からご預金等まで全ての業務を行う、いわゆるフルバンキング化です。2017年4月にはフルバンキング店舗を32カ店増やし「全店フルバンキング体制」を構築しました。

フルバンキング化により、お客さまとの接点を今まで以上に増やしつつ、従来の体制で培った各担当分野における専門性を活かすことで、より質の高い金融サービスを提供していきたいと考えています。

### 多様なソリューションの提供

#### ■他にはどのような取組みをなされていますか。

2016年10月には法人ソリューション営業部を設置しました。これは昨今、多様化・高度化する事業者のお客さまの資金調達手段をサポートするために、プロジェクトファイナンス等のストラクチャードファイナンスやシンジケートローンといった専門性の高い案件を担当する部署として設置しました。

また、個人のお客さまに対しては、預かり資産やローン商品の提案能力向上と魅力ある提案商品の充実に努めています。

預かり資産運用については、現場担当者と本部が連携して、事業承継、相続・贈与に関するコンサルティング営業に注力しています。また2017年5月より休日も営業しているローンプラザで生命保険の募集を開始し、より多くのお客さまにご相談いただける体制としました。

個人ローンについては、無担保個人ローンを住宅ローンに並ぶ柱にするため、様々なキャンペーンや商品改定を隨時実施しています。

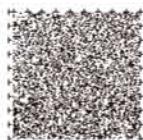
### 地元三重・愛知の業務は拡大

#### ■業務は拡大しているようですね。

この1年間(2016年4月～2017年3月)で、地元三重・愛知において、貸出金は+437億円(+3.2%)、預金等(預金+譲渡性預金)は+431億円(+2.5%)増加させることができました。今中期経営計画では収益性、健全性を兼ね備えた金融機関となるには、どのような水準をクリアすべきかという観点で計数面の目標を設定しています。今後も持続的成長に不可欠な間口の拡大を図るとともにトップライン収益を増強していきたいと考えています。

中期経営計画数値目標

	2017年3月期 実績	2018年3月期 目標
ROE	2.76%	3%以上
自己資本比率 (完全適用ベース)	7.65%	8%台
コア業務純益	33億円	50億円
地元(三重・愛知) 貸出金未残	10,376億円	10,900億円
個人預かり資産未残	14,553億円	16,350億円



# 地域密着型金融の推進による 金融仲介機能の発揮に向けた取組み

## 第三銀行との経営統合

### ■ 第三銀行との経営統合についてご教示ください。

当行は2017年2月28日に第三銀行と経営統合検討について基本合意しました。

これは、地方銀行を取り巻く様々な環境変化の中、経営統合により両行の経営資源やノウハウを相互活用し、将来を見据えた新たなビジネスモデルを確立するため、協議・検討を開始したものです。

統合の相乗効果を発揮することにより、三重県、愛知県及び近接地域における経済活性化の実現に向けて地域との信頼関係を更に強化し、お客さまから愛され、お客さま、地域とともに成長する金融グループを目指し、2017年9月の経営統合に関する最終合意、2018年4月の持株会社設立に向けて準備を進めています。

### ■ すべてのステークホルダーの方からの期待について、どのように応えていきますか？

現在、第三銀行との経営統合に向けて準備を進めていますが、すべてのステークホルダー、すなわちお客さま、株主さま、従業員それぞれが満足度を高める施策を遂行し、地域とともに発展するという考え方は変わりません。

つまり、「お客さま」に対しては、リレーションシップを強化し、魅力あるサービスを提供していきます。お客さまのニーズに幅広くお応えできる強靭で効率的な組織をつくり、サービスの充実に努めています。

「株主さま」に対しては、株価の上昇、配当の増加を成し遂げるため、財務体質を強化し、企業価値を向上していきます。

「従業員」に対しては、職員が男女問わず能力を如何なく発揮できるよう、人材の育成と働きがいのある職場をつくっていきます。

そして、それぞれの満足度を高めるには、高い健全性を備えた金融機関であることが必要です。「地域のみなさまに安心してお取引いただける強い金融機関となり、金融仲介機能を発揮して地元経済の発展に貢献していきます。

これらのこと、私自身も常に念頭に置きながら、経営の舵取りをし、職員と一緒に、今後も地域のみなさまとともに成長し続ける銀行にしたいと考えています。



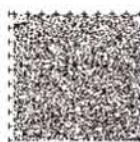
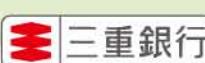
## 中期経営計画

### 「成長～地域とともに～」(2015年4月～2018年3月)

#### 目指す姿 地元で確固たる存在感を示し、成長し続ける銀行

#### テーマ

株主さま  
財務体質の強化を通じた  
企業価値の向上



地域密着型金融の推進による金融仲介機能の発揮に向けた取組みは、中期経営計画の遂行と軌を一にするものです。当行が目指す姿として掲げている「地元で確固たる存在感を示し、成長し続ける銀行」となるために、**1. お取引先に対するコンサルティング機能の発揮**、**2. 地域の面的再生に積極的に参画すること**、**3. 地域のみなさまやご利用者に対し、積極的に情報発信すること**が重要であると考えており、これを組織全体で積極的に推進しています。

当行では、金融庁より公表された「金融仲介機能のベンチマーク」を活用し、金融仲介の質を高めることで、「お客さま、地域経済の成長」と「当行の成長」の好循環を実現できるよう努めてまいります。

### 1. お取引先に対するコンサルティング機能の発揮

#### ○中小企業の経営支援に関する取組方針

日常的・継続的な面談等を通じて、お取引先と信頼関係を構築し、それによって得られた情報をもとに、お取引先のライフステージ等に応じた最適なソリューションを提案・実行してまいります。

#### ○中小企業の経営支援に関する態勢整備の状況

経営陣が主導しながら、本部による営業部店のサポート、外部機関との連携、人材育成等推進態勢を整備・充実させ、中小企業の経営支援を中長期的な視点に立って組織全体で継続的に推進しています。

#### 〈本部による営業部店のサポート〉

- ・航空宇宙産業、6次産業化の案件や、事業承継、M&A、ビジネスマッチング、国際ビジネスのサポート等について、本部と営業部店間の連携を密にしながら取り組んでいます。
- ・多様化するお客さまの資金調達手段をサポートするため、ストラクチャードファイナンス等の専門性の高い案件に特化する「法人ソリューション営業部」(営業推進部内)や、経営改善のサポートを専門的に行う「企業経営支援室」(審査部内)がお取引先を訪問させていただくなど、お取引先の経営のサポートを本部と営業部店が協働して取り組んでいます。

#### 〈外部機関との連携〉

- ・ビジネスマッチングや国際ビジネスのサポートに関する業務提携先を拡充し、お取引先のニーズに応じて提携先を紹介、活用しています。
- ・中小企業再生支援協議会等との連携を強化し、お取引先それぞれの状況に応じてあらゆる手法を検討しながら、サポートの実効性を高めています。

#### 〈人材育成〉

- ・各部との連携による業務研修の実施や、外部講師による研修の活用等により、お取引先のお役に立つ経営相談・支援のスキルを持った人材の育成を図っています。

### 2. 地域の面的再生への積極的な参画

地域や利用される方と日常的・継続的に接触して地域情報を収集・蓄積したうえで、地域経済の課題や発展の可能性等を把握・分析し、地域の面的再生に向けて役割を果たしてまいります。

	2018年3月期 目標
創業支援件数	100件
事業性評価の結果やローカルベンチマークを示して対話をしている先数	250社
ソリューション提案件数	1,000件
販路開拓支援先数	300社
M&A支援先数	20社
事業承継支援先数	130社
中小企業支援策の活用支援件数	100件
本業支援に関する研修等への参加者数	1,000名

	2017年3月期	
	目標	実績
ビジネスマッチング取組件数	1,200件	636件
国際ビジネス相談受付件数	150件	163件
審査能力向上研修受講者数	400名	935名
事業承継・M&A対応件数	150件	153件
地域ビジネス対応件数	160件	165件

3. 地域のみなさまやご利用者に対する積極的な情報発信

地域密着型金融の取組みや成果等について、わかりやすい形で積極的に情報発信してまいります。

# ビジネスパートナーとして お役に立ちます

日常的・継続的な面談を通じて、お客さまとのリレーションを構築し、それによって得られた情報をもとに、お客さまのライフステージに応じた最適なソリューションを提案・実行してまいります。

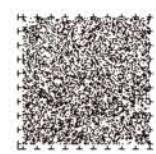


営業推進部  
法人ソリューション営業部  
坂本 隆太郎

プロジェクトファイナンス等の採上げから契約書作成、実行に至るまでの一連の手続きを担当しています。

積極的に司法書士、弁護士、コンサル等の専門家や行内の各部署と連携し、よりよい解決策を導き出すよう努めています。成約までの道のりは険しいですが、その分成約時の達成感は何物にも代え難いものがあります。

地域の活性化につながる大型プロジェクトを成約させることが目標です。



## みえぎんビジネスプランコンテスト

三重県・愛知県で創業・新事業展開を予定している法人・個人を募集し、2016年度は50件の応募がありました。このうち6件を表彰し、三重銀行グループが事業化に向けサポートを行っています。



## 起業家向けフリーローンを新設

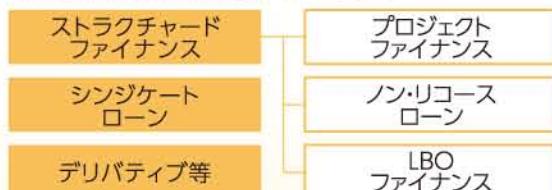
事業者向けフリーローン「クイック」に「創業支援コース」を新設しました。

三重銀総研が商工団体等から受託している「創業塾」等を修了された方や、「みえぎんビジネスプランコンテスト」の一次審査を通過された方を対象に、「一般コース」に比べ金利を引き下げて支援しています。



## 法人ソリューション営業部によるサポート

2016年10月、営業推進部内に「法人ソリューション営業部」を設置しました。専門性の高いソリューション案件に特化することで、多様化するお客さまの資金調達手段のサポートをさらに強力に推進しています。



## 航空宇宙産業への進出支援

三重銀総研と連携して、航空宇宙産業への進出を支援しています。受注意欲を持つ中小企業の技術力や参入意欲を個別に評価し、当行グループのネットワークを活用し、適合性の高い発注企業を個別に紹介しています。



## みえぎん次世代経営者育成塾

次世代経営を担う若手経営者を対象に、1年間に亘って開催しており、2017年度は23名に参加いただいています。2015年度開催以来、累積参加者は92名となりました。



## 事業承継・相続対策のサポート強化

お客さまの事業承継・相続対策ニーズに対し、対策スキームの構築・実行支援やM&Aの提案等、本部の専門の担当者から最適なソリューションを提案しています。ぜひご相談下さい。



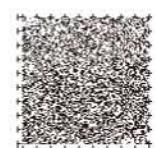
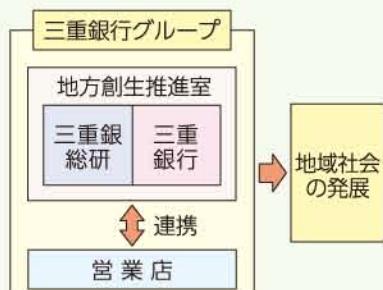


# 地方創生、地域活性化へ 積極的に参画しています

地域における地方創生への取組みに積極的に参画し、地域の活性化に寄与してまいります。またNPOのみなさまを地域活性化の重要な担い手として応援してまいります。

## 地方創生推進室

「地方創生」に資する企画を立案するとともに、営業店と連携を強化し、三重銀行グループ一體で実効性の高い取組みを推進することを目的に、2015年4月に設置した「地方創生プロジェクトチーム」を発展的に再編し、2016年4月に「地方創生推進室」を設置しました。



## 6次産業化支援事業

三重県から委託を受け「三重県6次産業化サポートセンター」を三重銀総研内に設置し、事業計画作成や実践研修会の開催等により、多くの企業を支援しています。



### ●6次産業とは

農業や水産業などの第1次産業者が食品加工・流通販売にも事業展開している経営形態。

## 商談会の開催によるプロモーション強化支援

2017年3月、地元の観光資源や地域資源のプロモーション強化を国内、海外を目指されている自治体及び事業者さまを対象に、株式会社KA DOKAWAとの一括マッチング商談会を開催しました。



### ●一括マッチング商談会とは

元請企業のニーズ(商品の仕入先拡大、各種協力企業の募集等)に対して、ニーズに合致する事業者等を募集して、元請企業との面談をセットするビジネスマッチング。

## 地方公共団体・商工会議所等との連携・協力による地域活性化

地方創生の諸問題に取り組むことで新たな地域活力の創出に寄与することを目的に、地方公共団体、商工会議所等と連携協定を締結しています。

### ●2016年度締結の連携協定先

四日市の4商店街(一番街・諏訪・諏訪西・本町通り)振興組合(5月)、名張商工会議所(7月)、春日井商工会議所(10月)、志摩市(2017年3月)



四日市の4商店街振興組合との連携協定

## インバウンド誘客への取組み

### ▼ 医療ツーリズムを志向したコーディネート

インバウンド誘客の方策として成長が見込まれる「医療ツーリズム」について、医療、宿泊、アミューズメント関係施設等とコラボした様々なコンテンツ作りを積極的に行ってています。

2016年度には、津市の温泉旅館湯元榎原館と学校法人鈴鹿医療科学大学の協働事業を企画し、「鍼灸・薬膳宿泊プラン」の実現をコーディネートしました。



### ▼ JTB中部との海外からの誘客に関する連携協定締結

双方の持つ資源を有効に活用し、海外からの旅行者受入に向けた魅力ある観光地づくり及び体制構築、旅行プラン・商品の開発を通じて、地域経済の活性化及び地方創生に資することを目的に、2017年5月にJTB中部との連携協定を締結しました。



## 「クラウドファンディング」の活用による資金調達・販路拡大のサポート

ミュージックセキュリティーズ株式会社と連携して、インターネットを利用して個人投資家から事業資金を集め、「クラウドファンディング」を活用し、お客さまの資金調達や販路拡大のサポートを行っています。

### ●2016年度のサポート案件例

#### いなべ市産ミルキークイーンを使った純米酒「猪名ひめ」応援プロジェクト

いなべ市産の粘りと甘みの強いお米「ミルキークイーン」を主要原料とした純米酒「猪名ひめ」(いなひめ)の購入型クラウドファンディング  
販売元である農業組合法人うりぼうが三重銀総研(三重県6次産業化サポートセンター)の支援を受け実現



#### 異国精肉店ザ・アミーゴス BBQファンド (募集期間2017年3月17日~9月29日)

「レゴランドジャパン」に隣接する商業施設「メーカーズピア」内にある「ザ・アミーゴスGRILL&BBQ」店の設備資金等を募集する出資型マイクロ投資ファンド



●出資型マイクロ投資ファンドとは  
プロジェクトごとにファンドを設立し、少額(マイクロ)の資金の投資を募る形態。

## NPOの支援

### ▼ 寄付による応援

2004年度以降、地元NPOに寄付を行い、活動を応援しています。2016年度は、次世代育成支援を主な活動分野とする11団体に対し総額100万円(各団体に4万円~16万円)を寄付しました。

また、当行経営陣と「NPO交流会」を開催し、2016年度は4つの団体と意見交換を行いました。

### ▼ NPOと協働による取組み

2016年10月 育児休職中の職員向け懇談会の中で、「NPO法人 ほがらか絵本畠」と協働で、「絵本の読み聞かせ講座」を行いました。



### ▼ NPO向けのご融資

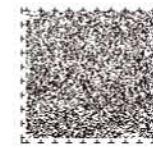
NPO法人の「つなぎ資金」ニーズに対応する「NPOローン」等により、資金需要にお応えしています。2005年よりNPOローンを開始して以来、累計融資実行額は24件/84百万円となりました。(2017年6月末時点)

# 環境保全、 次世代育成支援の取組み

「環境保全」と「次世代育成支援」を社会貢献活動の柱として、様々な取組みを行っています。

## 「みえぎん まなびの森」づくり

「環境保全」、「次世代育成支援」を目的に三重県菰野町内の当行保有地において、認定NPO法人「森林(もり)の風」と協働で「みえぎん まなびの森」づくりを行っています。



## ■植樹活動

「環境保全」、「次世代育成支援」を目的に、「みえぎん まなびの森」(三重郡菰野町内)や御在所岳山上において、定期的に植樹活動などを行っています。



## ▼「みえぎん まなびの森」での植樹

2016年7月、当行職員並びに職員家族他25名で「植樹会および工作教室」を行いました。

## ▼御在所岳山上での植樹

2016年9月、御在所岳山上で植樹活動を当行職員並びに職員家族他38名で行いました。

御在所岳山上で種を採取し「みえぎん まなびの森」(三重郡菰野町)で育成した、ドウダンツツジ、ヤシオツツジ、ミズナラ計100本を植樹しました。



## ■環境にやさしい店舗づくり

太陽光発電システムや屋上緑化の導入、自然光の採り入れ(太陽光照明スカイライトチューブの設置)、全照明のLED化など環境にやさしい店舗づくりを進めています。

## ■環境経営の充実

環境方針、環境目標を策定し、電力使用量の削減、紙使用量の削減等に取り組んでいます。



## ■「夏休み!銀行ワクドキ体験隊」の開催

毎年、小学校高学年の児童と保護者の方を対象に開催しており、2016年度は、2日間で47組95名の親子が参加されました。

クイズやゲームを通じてお金の役割や銀行の仕組みについて学んでいただくことを目的に、2007年より開催しています。



## ■スポーツ振興による次世代育成

地域のスポーツ振興による次世代育成を図ることを目的に、2017年5月に「三重銀行杯 第5回三重県小学生ティー・ボール選手権大会」を開催しました。2017年7月には「第3回みえぎんカップ 三重銀行杯少年サッカー大会」を開催予定です。



写真上段  
三重銀行杯 三重県小学生ティー・ボール選手権大会  
写真下段  
みえぎんカップ 三重銀行杯少年サッカー大会

## ■金融リテラシー教育の実施

学生や生徒の皆さんに金融・経済の知識を学んでもらう場を提供するために、各地の学校に出向いて出張授業を行っています。



## ■中学生の職場体験学習の受入れ

職場体験を通じて、「社会人としての自立を考える」という教育活動に賛同し、銀行業務を体験していただくプログラムに協力しています。



# 積極的な情報開示に 努めています

● 株式併合、単元株式数の変更について  
2016年10月1日をもって、株式併合(10株を1株に併合)および単元株式数の変更(1,000株から100株)を実施しました。

● 当行株式についてのお問い合わせ先  
株主名簿管理人：日本証券代行株式会社  
連絡先：〒168-8620  
東京都杉並区和泉2-8-4  
日本証券代行株式会社  
代理人部(フリーダイヤル)  
0120-707-843

## 働きがいのある 職場づくり



東海支店  
久田 真弓

「わくわく子育てサポートプラン」の育児短時間勤務制度を利用しています。限られた時間の中で効率よく仕事を進められるよう日々努力しています。また帰宅後は子どもと話したり宿題を見たり、子どもとのコミュニケーションを大切にしています。仕事と家庭の両立ができるのは、家族の支えや、理解ある職場の方々のおかげだと感謝し、今後も笑顔を忘れず全力で仕事と育児を頑張りたいと思います。

### 「ファミリーサポートプラン」の新設

2017年1月に従来の介護制度をより拡充させた「安心介護サポートプラン」を新設しました。子育て支援制度である「わくわく子育てサポートプラン」と総称して「ファミリーサポートプラン」とし、ワークライフバランスの推進に努めています。

### ● 仕事と家庭の両立水準等に対する認定・評価

「プラチナくるみん」  
東海三県下初認定  
2015年11月



「ベストプラクティス賞」  
受賞  
2016年11月



ステークホルダー(お客さま、株主さま・投資家、従業員、地域等)に対する情報発信活動に積極的に取り組んでいます。情報開示を通じて、ステークホルダーとのコミュニケーションを一層充実させてまいります。

### ■ IR・CR活動

株主さま・投資家への情報発信活動(IR活動)として、「株主さま講演会」や、東京で機関投資家等向けに会社説明会を開催しています。また、地域への情報発信活動(CR活動)として、「経営ご報告会」を各地で開催し、頭取から当行の経営の内容などについて説明しています。



### ■ ディスクロージャー誌、ミニディスクロージャー誌の発行

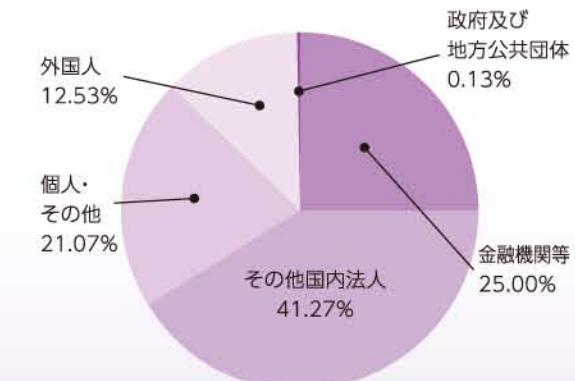
決算状況、トピックスをお客さまや株主のみなさまにタイムリーにわかりやすくお知らせするため、ディスクロージャー誌、ミニディスクロージャー誌を発行しており、当行に関する情報の積極的な発信に努めています。



### ■ 株式の状況(2017年3月31日現在)

- ▶ 発行可能株式総数 ..... 25,000,000株
- ▶ 発行済株式の総数 ..... 13,483,034株
- ▶ 株主数 ..... 5,939名

### ▼ 所有者別株式分布状況



### ▼ 大株主(上位10名)

(2017年3月31日現在)

株主名	所有株数(千株)	持株比率(%)
1 銀泉株式会社	1,062	7.88
2 株式会社三井住友銀行	776	5.75
3 三重銀行従業員持株会	441	3.27
4 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	360	2.67
5 三井住友カード株式会社	330	2.45
6 株式会社セディナ	324	2.40
7 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	278	2.06
8 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	238	1.76
9 住友電装株式会社	219	1.62
10 大日本住友製薬株式会社	205	1.52

## 従業員とともに

子育て支援やワークライフバランスの推進を通して、男女がともに活躍し、キャリアアップを図ることができる、働きがいのある職場づくりに取り組んでまいります。

### ● わくわく子育てサポートプランの内容

施策	内 容
最長3年間の育児休職期間	保育所に入所できない等の事情がある場合、育児休職期間を最長3年間とする
育児短時間勤務制度	小学校3年生修了までの子を養育する職員に短時間勤務を認める制度(5.5時間、6時間、7時間の短時間勤務を利用可能)
育児再雇用制度	育児・出産を理由に退職した職員が退職後5年内に復職を望む場合、退職前と同資格で再雇用する制度
所定外労働免除制度	小学校3年生修了までの子を養育する職員の所定外労働を免除する制度

### ● 安心介護サポートプランの内容

施策	内 容
介護休職制度	通算365日まで3回を上限とした介護休職を認める制度
介護時短勤務制度	介護による短時間勤務を利用開始から3年間を上限として利用できる制度(5.5時間、6時間、7時間の短時間勤務を利用可能)
介護休暇制度	介護休暇を年5日まで時間単位で取得できる制度
所定外労働免除制度	介護終了まで所定外労働を免除する制度

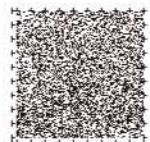
# 第三銀行との経営統合に関する 基本合意について

第三銀行と経営統合に向  
け協議・検討を進めてお  
り、2018年4月に持株会  
社を設立予定です。

## 共同記者会見



(左)三重銀行：渡辺頭取 (右)第三銀行：岩間頭取  
三重銀行と第三銀行は、2017年2月28日開催の両行の取締役会において、経営統合に向け、協議・検討を進めていくことについて基本合意することを決議いたしました。同日、両行の間で基本合意書を締結し、共同記者会見を行いました。



## ■背景

### 環境変化

- ・人口減少、高齢化の進展等、社会の構造的な問題
- ・FinTech等の技術革新を通じた異業種からの参入
- ・市場金利低下による競争激化

### 経営課題

三重県、愛知県及び近接地域におけるプレゼンスを高める強固な経営基盤の確立

両行の経営資源やノウハウを相互活用し、将来を見据えた新たなビジネスモデルを確立するため、協議・検討を開始

## ■経営統合の目的・基本方針

両行は、以下の基本方針に従い、統合の相乗効果の発揮により、三重県、愛知県及び近接地域における経済活性化の実現に向けて地域との信頼関係を更に強化し、お客さまから愛され、お客さま、地域とともに成長する金融グループを目指します。

## ■基本方針

- (1)三重県に本店を置く地域金融機関として、経営環境の変化に応じた新たなビジネスモデルを確立し、三重県、愛知県及び近接地域内のマーケットでの競争力を高めます。
- (2)両行間の連携強化を通じて、中小企業や個人のお客さまへ高度な金融サービス機能と金融仲介機能を発揮し、地域経済活性化に貢献いたします。
- (3)行員が活躍できる機会の拡大を図ることで、行員のモチベーションを高めるとともに、全ての役職員が互いを尊重しながら融和を図り、新たな企業文化を確立することで、一体感を持って成長戦略にチャレンジいたします。
- (4)両行の強みや特色を最大限に活かすとともに、徹底した合理化、効率化により、統合の相乗効果を最大限に発揮いたします。

## ■新グループの概要

両行は、対等の精神での統合を前提に、それぞれの強みを生かすことで相乗効果を発揮することを優先し、持株会社設立による経営統合を目指すこといたしました。持株会社については、その機能を高める方針であり、持株会社傘下の銀行子会社の合併を含めたグループ内再編等、様々な観点からの検討を加えることで、企業価値の向上を図ってまいります。

## ■主な指標

	総資産(連結)	預金残高(単体)	貸出金残高(単体)
三 重 銀 行	1兆9,811億円	1兆6,608億円	1兆3,811億円
第 三 銀 行	2兆220億円	1兆7,970億円	1兆2,601億円
単 純 合 算	4兆32億円	3兆4,578億円	2兆6,413億円

(2017年3月末時点)

## ■店舗数

	三 重	愛 知	和 歌 山	岐 阜	奈 良	東 京	大 阪	合 計
三 重 銀 行	57	16	-	-	-	1	1	75
第 三 銀 行	64	18	5	2	2	1	6	98
単 純 合 計	121	34	5	2	2	2	7	173

(2017年3月末時点)

## ■相乗効果

営業基盤の拡充	三重県、愛知県及び近接地域内における営業基盤の拡充
---------	---------------------------

金融仲介機能の拡充	両行の融資ノウハウの活用、ビジネスマッチング・事業承継等の本業支援を通じた地域経済活性化
-----------	--

経営の効率化	本部組織のスリム化、本部機能の効率化、コスト削減
--------	--------------------------

## ■今後のスケジュール(予定)



▼ 2017年 9月  
経営統合に関する最終契約  
(株式移転計画を含む。)締結

▼ 2017年12月  
両行臨時株主総会  
(株式移転計画の承認の決議)

▼ 2018年 4月2日  
持株会社設立(効力発生日)  
及び持株会社上場日

# 業績ハイライト (単体) <2017年3月期>

## 損益の状況

収 益		費 用		利 益	
資金運用収益 貸出金・有価証券の利息収入など	177 (▲10)	資金調達費用 預金等の利息支払費用など	15 (△7)	A 資金利益① 161 (▲3)	
役務取引等収益 振込や投信・保険販売等にかかる各種手数料	58 (+1)	役務取引等費用 振込関係手数料、住宅ローン団体信用生命保険料など	19 (△0)	B 役務取引等利益② 39 (+1)	
その他業務収益 債券等の売却益やデリバティブ収益など	17 (+3)	その他業務費用 債券等の売却損など	1 (△0)	C その他業務利益③ 16 (+4)	
				うち債券関係損益④ 3 (+0)	
				業務粗利益⑤(①+②+③) 217 一般事業会社の売上総利益に相当	(+2)
一般貸倒引当金繰入⑥	— (—)				
D 経費⑦	180 (▲2)				
臨時収益 株式売却益 貸倒引当金戻入益など	15 (+0)			E 業務純益⑧(⑤ - ⑥ - ⑦) 36 一般事業会社の営業利益に相当	(▲0)
うち償却債権取立て益⑪ 0 うち貸倒引当金戻入益⑫ 1 (+0)				F コア業務純益⑨ 33 (⑧ - ④ + ⑥)	(▲1)
F 信用コスト (⑥ + ⑬ - ⑪ - ⑫)	△0 (△0)			G 臨時損益⑩ 7 (▲6)	
特別利益 固定資産の処分益など	1 (+0)			H うち株式等関係損益 2 (△1)	
特別損失 固定資産の処分損、減損損失など	2 (△1)			I 経常利益⑭ 43 (⑧ + ⑩)	(▲7)
法人税等⑯	10 (△6)			J 特別損益⑮ ▲1 (△1)	
				K 税引前当期純利益⑯ 42 (⑭ + ⑮)	(▲9)
				L 当期純利益⑯ 32 (⑯ - ⑯)	(▲2)

(単位:億円、( )内は前期比増減)

## 前期比増減要因

### A 資金利益

貸出金について、残高は増加したものの、利回り低下等により利息収入が減少したことなどから、資金利益は3億円減少しました。

### B 役務取引等利益

融資アレンジメント手数料等が増加したことなどから、役務取引等利益は1億円増加しました。

### C その他業務利益

デリバティブ商品の販売収益の増加などから、その他業務利益は4億円増加しました。

### D 経費

人件費が増加したことなどから、経費は2億円増加しました。

### E 臨時損益

退職給付費用や株式の売却損・償却(減損)の増加などから、臨時損益は6億円減少しました。

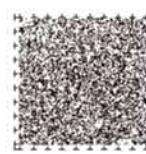
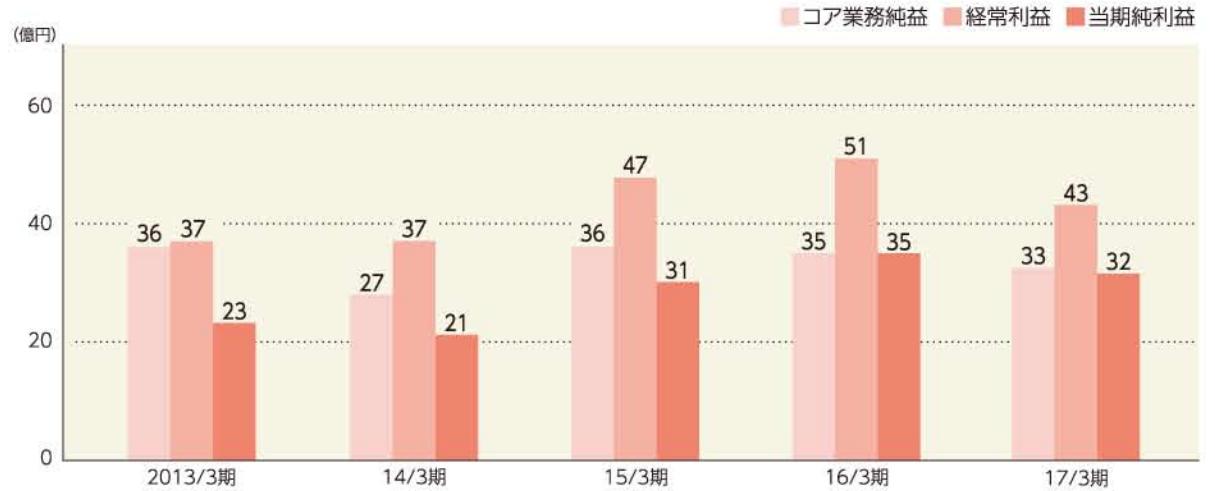
### F 信用コスト

貸倒引当金の戻入などから、信用コストは前年並みとなりました。

## 利 益

コア業務純益は、貸出金利回り低下等により利息収入が減少したことなどから、33億円と前期比1億円減益となりました。

経常利益は、退職給付費用の増加や、有価証券関係損益の減少などから、43億円と前期比7億円減益、当期純利益は32億円と同2億円減益となりました。



## 貸出金、預金、有価証券の状況

### 貸出金

#### ▼貸出金残高

貸出は当行の資金運用の約7割を占める根幹業務で、収益の柱でもあります。

貸出金は地元事業性貸金を中心に増加し、前年比437億円(3.2%)増加しました。

地元三重・愛知では、前年比420億円(4.2%)増加しました。



#### ▼地元事業性貸金残高

地元(三重・愛知)事業性貸出金は、中小企業へのご融資を中心に増加し、前年比435億円(8.1%)増加しました。



#### ▼個人ローン残高

個人ローンは、住宅ローンの残高が減少し、前年比11億円(▲0.2%)減少しました。



### 預金

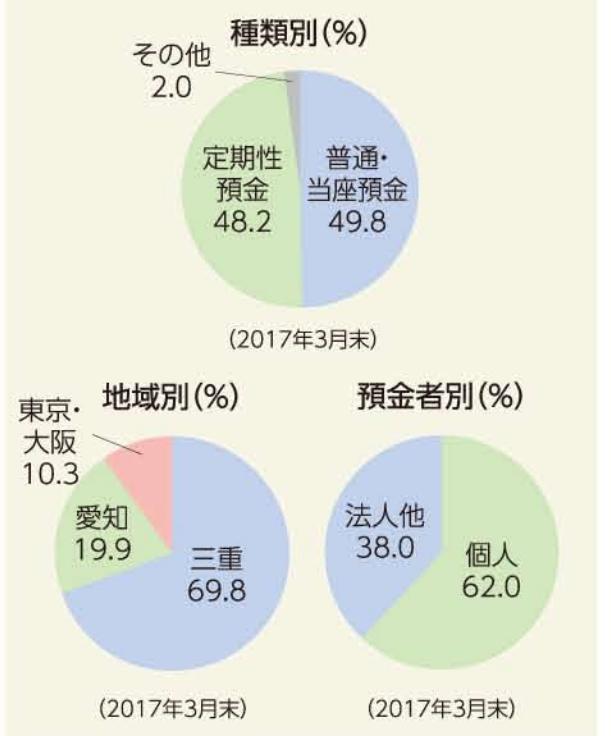
#### ▼預金・譲渡性預金残高

お客さまからお預かりしている預金で、総負債の約9割を占めています。

預金・譲渡性預金は、地元預金を中心に増加し、前年比431億円(2.5%)増加しました。また、地元三重・愛知では前年比323億円(2.0%)増加しました。



#### 預金等残高の内訳



### 有価証券

#### ▼有価証券残高

安全性と収益性のバランスを考慮しながら有価証券を運用しています。

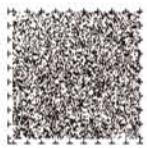
有価証券は、投資信託等の残高が増加し、前年比67億円(1.5%)増加しました。



#### 有価証券残高の内訳



#### 貸出金残高の内訳



## 個人預かり資産、経営の安全性、資産の健全性の状況

### ▼個人預かり資産残高

個人預かり資産は、保険を中心に残高を伸ばしたことから、前年比158億円(1.1%)増加しました。

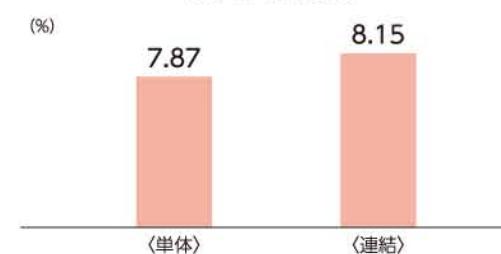


「個人預かり資産」とは、個人のお客さまの預金残高、投資信託純資産残高、保険販売累計額、公共債残高を合計したものであります。

### ▼自己資本比率(国内基準)

自己資本比率は、単体で7.87%、連結で8.15%となり求められる水準である4%を大きく上回っています。

(2017年3月末)



「自己資本比率」とは、リスクを持つ資産に対する自己資本の割合を表すもので、「銀行経営の健全性を計るモノサシ」とされています。貸倒れなどにより銀行の保有する資産の価値が大きく変動したとしても、一定比率以上の自己資本があれば銀行は自分の体力で吸収することができます。

### ▼格付け

当行は日本格付研究所(JCR)から格付けを取得しています。当行の健全な財務内容が評価され、良好な格付けとなっています。

日本格付研究所(JCR)  
長期発行体格付



債務履行の確実性は高い

「格付け」とは、企業が発行する社債などの債務履行の確実性や、企業そのものの信用度について、公正な第三者である格付機関が評価したものです。

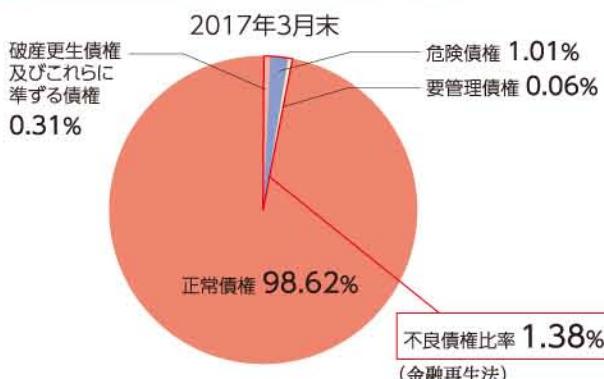
当行の格付(長期発行体格付)はA(格付の見通し:安定的)となっておりましたが、2017年3月にクレジットモニター(※)の指定を受け、#A(見直し方向:ネガティブ)へ変更されております。

※付与された格付けについて、重大な事象が発生し又は見込まれるために変更の可能性があることをいい、それが解除となるまで格付記号の前に '#' が付けられます。

### ▼不良債権比率

金融再生法に基づく開示債権は194億円、総与信に対する比率は1.38%と資産の健全性は引き続き高い水準を維持しています。開示債権194億円に対する担保・保証や貸倒引当金による保全率は91.7%であり、備えは十分です。

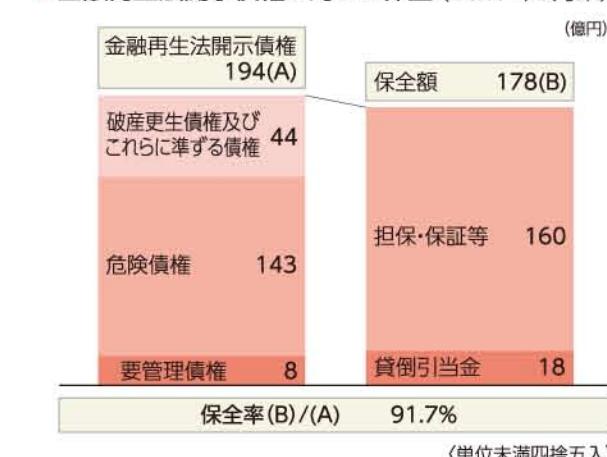
#### ●金融再生法に基づく開示債権(単体)



#### ●金融再生法開示債権額と比率の推移



#### ●金融再生法開示債権に対する保全 (2017年3月末)



#### 【金融再生法に基づく開示債権】

(金融機能再生緊急措置法施行規則第4条に定める債権区分)

##### 1. 破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれらに準ずる債権をいいます。

##### 2. 危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないものの、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権をいいます。

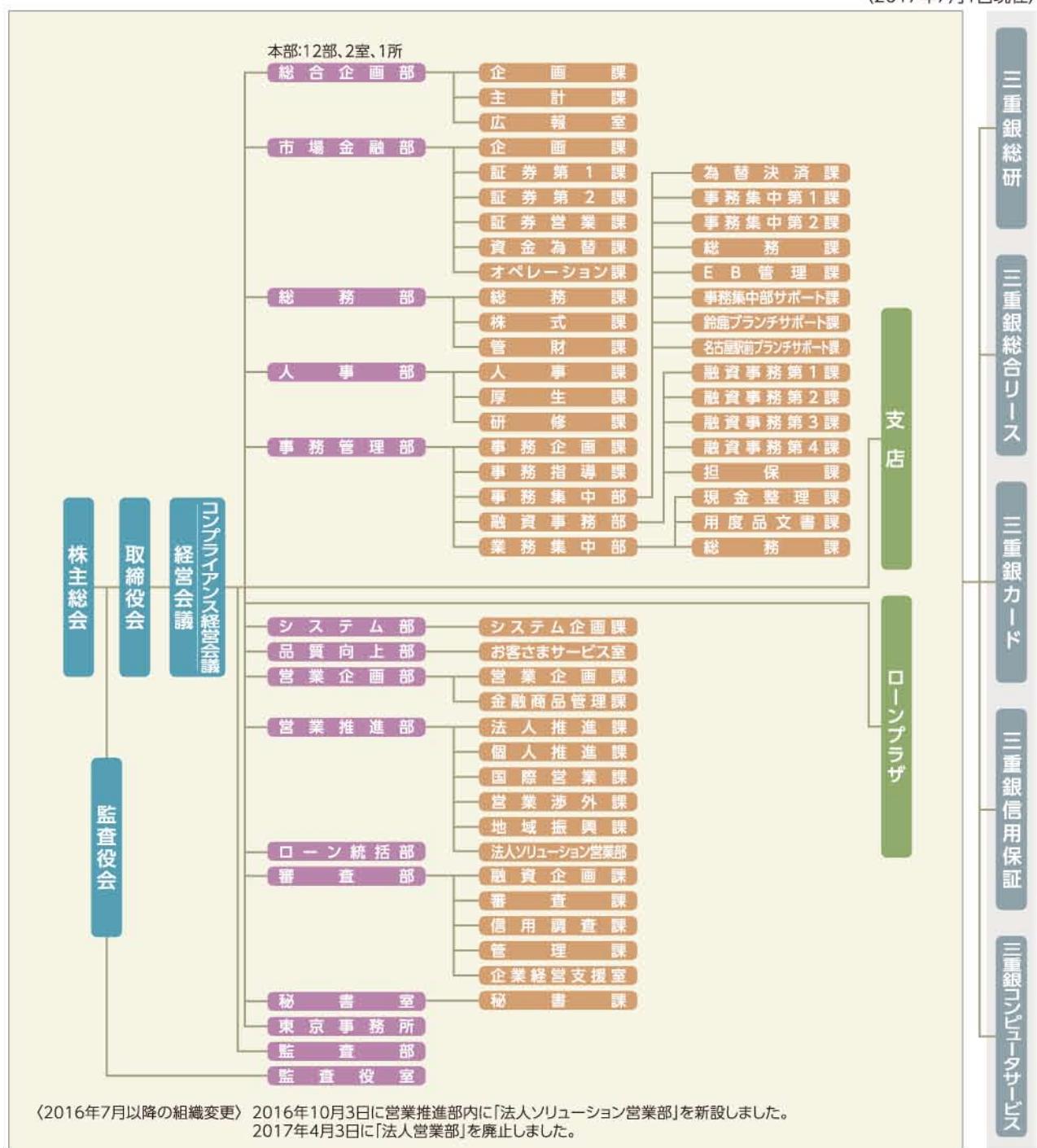
##### 3. 要管理債権

3ヶ月以上延滞債権および貸出条件緩和債権をいいます。





## 組織図



## 当行の従業員数

	従業員数	平均年齢	平均勤続年数	平均年間給与
2016年3月31日	1,189人 (458人)	37.5歳	14.1年	5,877千円
2017年3月31日	1,232人 (483人)	37.7歳	14.3年	5,855千円

(注) 1.従業員数は、執行役員(2016年3月31日20人、2017年3月31日20人)を含み、嘱託及び臨時雇用者(2016年3月31日450人、2017年3月31日469人)を含んでおりません。  
2.監時従業員数は、( )内に年間の平均人員を外書きで記載しております。  
3.平均年間給与は、賞与及び基準外賃金を含んでおります。  
4.当行の従業員組合は、三重銀行従業員組合と称し、組合員数は2016年3月31日929人、2017年3月31日983人であります。労使間においては特記すべき事項はありません。

## 連結会社における従業員数

	銀行業	リース業	信用保証業	その他の事業	合計
2016年3月31日	1,189人 (458人)	19 (5)	7 (9)	107 (51)	1,322 (523)
2017年3月31日	1,232人 (483人)	21 (5)	7 (8)	82 (13)	1,342 (509)

(注) 1.従業員数は、執行役員(2016年3月31日20人、2017年3月31日20人)を含み、嘱託及び臨時雇用者(2016年3月31日489人、2017年3月31日496人)を含んでおりません。  
2.監時従業員数は、( )内に年間の平均人員を外書きで記載しております。

## 役員、会計監査人

取締役会長 [代表取締役]	種橋潤治
取締役頭取 [代表取締役]	渡辺三憲
取締役兼専務執行役員	宅野一郎
取締役兼専務執行役員	山本隆司
取締役兼専務執行役員 (秘書室長)	一色孝三
取締役兼常務執行役員	片岡新二
取締役兼常務執行役員	廣瀬壽美
取締役 [社外取締役]	藤原信義
取締役 [社外取締役]	松井憲一
取締役 [社外取締役]	用弘美
監査役 [常勤]	山口元弘
監査役 [常勤]	前川栄治
監査役 [社外監査役]	古川典明
監査役 [社外監査役]	伊藤雄二
監査役 [社外監査役]	吉田すみ江
会計監査人	有限責任あづさ監査法人

(注) 1.取締役のうち藤原信義、松井憲一及び用弘美の各氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。  
2.監査役のうち古川典明、伊藤雄二及び吉田すみ江の各氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。  
3.監査役吉田すみ江氏の戸籍上の氏名は、今尾すみ江であります。

常務執行役員 (本店支配人)	東海悟
常務執行役員 (本店支配人)	内海誠志
常務執行役員 (本店支配人)	砂田毅彦
常務執行役員 (人事部長)	加藤芳毅
常務執行役員 (大阪支店長)	小林克志
常務執行役員 (本店営業部長)	川合保正
常務執行役員 (総合企画部長)	堀内浩樹
常務執行役員 (名古屋支店長)	松川賢二
常務執行役員 (東京支店長兼東京事務所長)	松本環
執行役員 (川越支店長)	桐井毅
執行役員 (津支店長)	粟野博之
執行役員 (本店支配人)	坂本直樹
執行役員 (総務部長)	鈴木秀幸
執行役員 (桑名支店長)	堀部勝寛
執行役員 (農田支店長兼豊田ローンプラザ長)	増田晃男
執行役員 (上野支店長兼伊賀ローンプラザ長)	町野昌年
執行役員 (システム部長)	松岡太朗
執行役員 (品質向上部長)	小河寿徳
執行役員 (鈴鹿支店長兼鈴鹿中央支店長)	森啓旗
執行役員 (名古屋駅前支店長)	若杉哲也
執行役員 (東海支店長兼東海ローンプラザ長)	浅井成夫
執行役員 (平田駅前支店長)	佐藤篤司
執行役員 (名東支店長)	野呂明弘

## 当行のあゆみ

明治 大正	28年11月 四日市銀行設立 8年 3月 山田銀行を合併 10年12月 河曲銀行を合併 11年 3月 員弁銀行を合併 2年 3月 津農商銀行を合併 5月 小津銀行を合併 3年 6月 四日市貯蓄銀行を合併 14年12月 三重銀行に行名改称 20年 4月 伊賀農商銀行を合併 51年 9月 東京支店開設 53年 4月 外国為替業務取扱開始 54年 2月 為替オンライン開始 11月 預金科目の全店自営オンライン化完了 56年 4月 中期経営計画「チャレンジ!!5」スタート 57年 6月 融資オンライン開始 10月 大阪支店開設 58年 4月 国債窓口販売業務開始 7月 事務センター完成 10月 第2次総合オンライン化完了	蔵町本店(明治43年) 新道本店(昭和27年) 新本店(昭和39年)
昭和	12月 預金残高5,000億円突破 60年 4月 海外コルレス業務開始 61年11月 名古屋証券取引所市場第二部に上場 62年 4月 中期経営計画「アクション♪」スタート 63年 9月 名古屋証券取引所市場第一部に指定替え	
平成	元年 4月 中期経営計画「アクティブ10」スタート 2年 2月 第三次オンラインシステム稼働 3月 VI(ビジュアル・アイデンティティー)導入 4年 3月 預金残高1兆円突破 4月 中期経営計画「STEP100」スタート 6年 4月 100周年(第七次)中期経営計画 "CORE100"スタート 7年11月 創業100周年 8年 4月 中期経営計画「BEST BANK プラン」スタート 7月 三重銀経営者クラブ発足 12月 東京証券取引所市場第一部に上場 10年 4月 中期経営計画「フォワード21」スタート 5月 新本店竣工 12月 証券投資信託窓口販売業務開始 13年 1月 中期経営計画「ACCESS No.1」スタート 5月 第四次オンラインシステム稼働 14年10月 個人年金保険窓口販売業務開始 16年 3月 デリバティブ販売業務開始 17年 4月 中期経営計画「新創業への挑戦」スタート 11月 創業110周年 21年 4月 中期経営計画「信頼と共感」スタート 22年 5月 第五次オンラインシステム稼働 24年 4月 中期経営計画「信頼と共感 第Ⅱ章」スタート 27年 4月 中期経営計画「成長~地域とともに~」スタート 11月 創業120周年	仮本店(平成7年) 現本店(平成10年)



# 店舗一覧

## 支 店 (2017年7月1日現在)

三重県				
店番	支店名	所在地・電話番号	キャッシュコーナー 営業日	
<b>四日市市・三重郡</b>				
101	本店営業部	四日市市西新地7番8号 TEL(059)353-3111	365日	
103	四日市駅前支店	四日市市安島一丁目2番29号 TEL(059)353-5681	365日	
104	西支店	四日市市京町1番16号 TEL(059)331-8641	365日	
117	阿倉川支店	四日市市阿倉川町16番9号 TEL(059)332-5526	365日	
105	四日市市役所内支店	四日市市諏訪町1番5号 TEL(059)352-3489	平日	
108	塩浜支店	四日市市御園町一丁目8番地 TEL(059)345-2307	365日	
109	追分支店	四日市市追分二丁目1番2号 TEL(059)345-0821	365日	
120	日永支店	四日市市日永四丁目1番44号 TEL(059)345-2211	365日	
110	新道支店	四日市市沖の島町1番10号 TEL(059)352-5111	365日	
111	三重支店	四日市市三重四丁目3932番の3 TEL(059)332-2121	365日	
112	桜支店	四日市市桜台一丁目27番地の3 TEL(059)326-3113	365日	
113	常磐支店	四日市市ときわ一丁目2番7号 TEL(059)351-0431	365日	
124	久保田支店	四日市市久保田一丁目5番44号 TEL(059)351-5100	365日	
114	四郷支店	四日市市室山町字枝谷1667番地の6 TEL(059)322-1101	365日	
119	川島支店	四日市市三滝台四丁目1番地の26 TEL(059)322-0397	365日	
115	北勢市場支店	四日市市河原田町字伊倉712番地 TEL(059)347-0121	平日	
106	富田支店	四日市市富田三丁目2番3号 TEL(059)365-1131	365日	
123	大矢知支店	四日市市大矢知町1051番地の1 TEL(059)363-3820	365日	
181	山城支店	四日市市あさけが丘二丁目1番255 TEL(059)337-2435	365日	
118	楠支店	四日市市楠町南川185番地の6 TEL(059)397-3582	365日	
107	川越支店	三重郡川越町大字豊田字城の内268番地の2 TEL(059)365-3141	365日	
121	朝日支店	三重郡朝日町大字小向字北里下738番地 TEL(059)377-3630	365日	
213	菰野支店	三重郡菰野町大字菰野1090番地 TEL(059)393-1111	365日	
206	北菰野支店	三重郡菰野町大字永井南前野3095番38 TEL(059)396-4911	365日	
<b>桑名市・いなべ市・員弁郡</b>				
212	桑名支店	桑名市中央町四丁目31番地 TEL(0594)22-2655	365日	
208	星川支店	桑名市大字星川字半之木785番地 TEL(0594)31-8331	365日	
205	大山田支店	桑名市星見ヶ丘一丁目202番地 TEL(0594)33-3360	365日	
210	員弁支店	いなべ市員弁町石仏字段1906-1番地 TEL(0594)74-3611	365日	
211	阿下喜支店	いなべ市北勢町阿下喜1009番地 TEL(0594)72-3331	365日	
207	東員支店	員弁郡東員町大字穴把野新田字村中658番地の1 TEL(0594)76-8011	365日	
<b>鈴鹿市・龜山市</b>				
214	鈴鹿支店	鈴鹿市神戸二丁目1番5号 TEL(059)382-1301	365日	
233	石薬師支店	鈴鹿市石薬師町1689番地の1 TEL(059)374-3981	365日	
182	鈴峰支店	鈴鹿市長沢町字北間倉1244番地の3 TEL(059)371-1177	365日	
218	鈴鹿中央支店	鈴鹿市飯野寺家町845番地 TEL(059)383-3731	365日	
228	平田町駅前支店	鈴鹿市算所一丁目2番1号 TEL(059)378-1521	365日	
232	長太支店	鈴鹿市長太旭町四丁目18番11号 TEL(059)385-1415	365日	
215	白子支店	鈴鹿市南江島町11番20号 TEL(059)387-1411	365日	
217	千代崎支店	鈴鹿市岸岡町字砂山3087番4 TEL(059)387-5221	365日	
234	玉垣支店	鈴鹿市南玉垣町字玉垣6976番 TEL(059)382-6226	365日	
216	旭が丘支店	鈴鹿市中旭が丘三丁目10番26号 TEL(059)387-2531	365日	
315	龜山支店	龜山市東御幸町字実泥59番地 TEL(0595)82-3131	365日	
314	みずほ台支店	龜山市川合町1185番地の3 TEL(0595)83-4080	365日	
<b>津市・松阪市</b>				
316	津支店	津市栄町一丁目941番地 TEL(059)226-6155	365日	
320	三重大学前支店	津市栗東町屋町字東之内1661番地の3 TEL(059)232-1135	365日	
324	高茶屋支店	津市高茶屋小森町字瓦ヶ野4077番地の1 TEL(059)234-8831	365日	
317	久居支店	津市久居新町873番地の2 TEL(059)255-3105	365日	
230	千里支店	津市河芸町東千里136番地の1 TEL(059)245-1414	365日	
<b>伊勢市・鳥羽市・志摩市</b>				
318	松阪支店	松阪市新町816番地 TEL(0598)21-4327	365日	
319	伊勢支店	伊勢市本町6番4号 TEL(0596)28-0241	365日	
325	鳥羽支店	鳥羽市鳥羽四丁目1番12号 TEL(0599)25-1688	365日	
326	鵜方支店	志摩市阿尻町鵜方字中之河内4872番地 TEL(0599)43-6812	365日	
<b>伊賀市・名張市</b>				
521	上野支店	伊賀市上野寺町1167番地の4 TEL(0595)21-3131	365日	
522	佐那具支店	伊賀市佐那具町520番地の1 TEL(0595)23-3111	365日	
526	島ヶ原支店	伊賀市島ヶ原5890番地 TEL(0595)59-2020	365日	
183	伊賀新堂支店	伊賀市新堂46番地の1 TEL(0595)45-4611	365日	
527	名張支店	名張市栄町2873番地の11 TEL(0595)64-3600	365日	
<b>愛知県</b>				
店番	支店名	所在地・電話番号	キャッシュコーナー 営業日	
430	名古屋支店	名古屋市中区錦2丁目19番1号 TEL(052)202-5585	365日	
432	名古屋駅前支店	名古屋市中村区椿町7番20号 TEL(052)451-8431	365日	
434	今池支店	名古屋市千種区今池五丁目5番5号 TEL(052)741-0331	365日	
435	中村公園前支店	名古屋市中村区烏居西通一丁目6番の1 TEL(052)411-3121	365日	
439	鳴海支店	名古屋市緑区鳴海町字根古屋2番地 TEL(052)622-5921	365日	
450	名東支店	名古屋市名東区一社二丁目2番地 TEL(052)701-6171	365日	
453	港支店	名古屋市港区七番町二丁目11番地 TEL(052)653-3611	365日	
456	天白支店	名古屋市天白区原一丁目412番地 TEL(052)803-7111	365日	
433	蟹江支店	海部郡蟹江町本町十一丁目157番地 TEL(0567)95-2195	365日	
460	佐古木支店	弥富市佐古木二丁目269番2 TEL(0567)65-4848	365日	
452	日進支店	日進市藤枝町小六田236番地 TEL(0561)73-1251	365日	
436	東海支店	東海市大田町蟹田67番地の1 TEL(0562)32-2281	365日	
437	豊田支店*	豊田市昭和町二丁目20番地1 TEL(0565)32-3051	365日	
<b>東京都</b>				
店番	支店名	所在地・電話番号	キャッシュコーナー 営業日	
601	東京支店	東京都中央区京橋一丁目1番1号 TEL(03)3241-7015	平日	
<b>大阪府</b>				
店番	支店名	所在地・電話番号	キャッシュコーナー 営業日	
701	大阪支店	大阪市中央区今橋四丁目4番7号 TEL(06)6222-1251	平日	
<b>被振込専用支店</b>				
店番	支店名	所在地・電話番号	キャッシュコーナー 営業日	
801	ファースト支店	四日市市西新地7番8号 本店ビル7階 TEL(052)202-5585		
.....	外国為替取扱店(5カ店)			
.....	外貨両替店(28カ店)			
<b>ローンプラザ</b> (2017年7月1日現在)				
拠点名	所在地・電話番号			
四日市ローンプラザ	四日市市日永四丁目1番44号 日永支店内 TEL(059)345-2216			
桑名ローンプラザ	桑名市星見ヶ丘一丁目202番地 大山田支店内 TEL(0594)33-3005			
鈴鹿ローンプラザ	鈴鹿市算所一丁目2番1号 平田町駅前支店内 TEL(059)378-1761			
津ローンプラザ	津市栄町一丁目941番地 津支店内 TEL(059)213-8666			
伊勢ローンプラザ	伊勢市本町6番4号 伊勢支店内 TEL(0596)27-2311			
伊賀ローンプラザ	伊賀市上野寺町1167番地の4 上野支店内 TEL(0595)24-6207			
名古屋駅前ローンプラザ	名古屋市中村区椿町7番20号 名古屋駅前支店内 TEL(052)459-0343			
名古屋ローンプラザ	名古屋市名東区一社一丁目87番地 ユウクビル2階 TEL(052)705-7586			
東海ローンプラザ	東海市大田町蟹田67番地の1 東海支店内 TEL(0562)39-2776			
豊田ローンプラザ	豊田市昭和町二丁目20番地1 豊田支店内 TEL(0565)37-7618			
知立ローンプラザ	知立市新富二丁目5番地 知立支店内 TEL(0566)84-5200			

\*2017年11月上旬に以下の住所へ移転予定です。  
豊田市喜多町三丁目120番地

# グループの概要

三重銀行グループは、当行と子会社5社で構成しており、銀行業務を中心に、お客さまの幅広い金融ニーズにお応えするため、リース業務、クレジットカード業務などの金融サービスを提供しています。

## 事業系統図 (★は連結子会社) (2017年7月1日現在)



## 子会社の概要 (2017年7月1日現在)

<b>株式会社三重銀総研</b>	本社所在地 四日市市西新地7番8号 電話番号 (059)354-7102 事業の内容 企業経営に関する情報提供・相談業務、金融経済等の調査・研究業務 設立年月日 1996年5月8日 資本金 50百万円 当行議決権保有割合 15% 子会社の議決権保有割合 75%
<b>三重銀総合リース株式会社</b>	本社所在地 四日市市幸町2番4号 電話番号 (059)351-2165 事業の内容 リース業務・投資業務 設立年月日 1979年8月22日 資本金 90百万円 当行議決権保有割合 33% 子会社の議決権保有割合 37%
<b>株式会社三重銀カード</b>	本社所在地 四日市市幸町2番4号 電話番号 (059)354-3344 事業の内容 クレジットカード業務、貸金業務、信用保証業務 設立年月日 1982年7月3日 資本金 90百万円 当行議決権保有割合 75% 子会社の議決権保有割合 20%
<b>三重銀信用保証株式会社</b>	本社所在地 四日市市幸町2番4号 電話番号 (059)351-9433 事業の内容 信用保証業務 設立年月日 1986年4月23日 資本金 480百万円 当行議決権保有割合 100%
<b>三重銀コンピュータサービス株式会社</b>	本社所在地 四日市市十七軒町15番1号 電話番号 (059)351-4227 事業の内容 コンピュータシステム開発・運行業務 設立年月日 1991年6月18日 資本金 30百万円 当行議決権保有割合 55% 子会社の議決権保有割合 45%

## コミュニケーションチャネルを充実させ、ますます便利に

### ATM

#### 提携ATM



全国のセブン-イレブンなどに設置



全国のファミリーマートなどに設置

#### ATMでのキャッシュカード振込の一部利用制限

振り込め詐欺等の被害を未然に防止するため、2017年6月2日より以下の条件に該当する方について、ATMでのキャッシュカードによるお振込を停止させていただいています。

#### ATM相互無料開放行

ご出金*	ご入金
三井住友銀行	大垣共立銀行
大垣共立銀行	第三銀行
第三銀行	イオン銀行
イオン銀行	関西アーバン銀行
関西アーバン銀行	三重県下JA/パンク
三重県下JA/パンク	

\*所定の時間外のご利用には、別途時間外手数料(108円)が必要となります。

### 「LINE」で旬の情報を届け

スマートフォンのコミュニケーションアプリ「LINE@」のアカウントを開設し、「旬のキャンペーン」や「新商品・サービス」などの情報をタイムリーに発信しています。



### 広報物の音声化

文字情報を音声で聞くことができる「SPコード」(右下にあるコード)をディスクロージャー誌などに導入しています。「SPコード」を読み取る装置を5カ店に設置しており、「SPコード」の認知度向上にも協力しています。



## インターネットの不正利用にご注意ください!

インターネットバンキングの不正利用・不正送金に関する犯罪が引き続き全国で多発しています。

当行のインターネットバンキングでもセキュリティ等必要な対策は講じてますが、お客さまにおかれましても不正利用・不正送金防止および被害軽減のため、以下の対策をおすすめしています。

#### ●類推されやすい番号の利用を避け、定期的な暗証番号の更新

インターネットバンキングご利用にあたっては類推されやすいログイン暗証・確認暗証の利用を避け、ログイン暗証・確認暗証・秘密の質問を保存しないようにしてください。

#### ●ログイン履歴や取引履歴の確認

インターネットバンキングにログインした際、ログイン後最初の画面右上に表示される、直近のログイン履歴や取引履歴を確認し、万が一、身に覚えのない履歴があった場合には、速やかに当行あてにご連絡ください。

#### ●振込限度額の引き下げ設定

インターネットバンキングで設定された振込限度額の引き下げを希望されるお客さまにつきましては、インターネットバンキングの画面上での即時変更の手続きが可能です。

万が一、不正取引が発生した時の被害を最小限に留めるため、振込限度額を必要最低限の金額まで引き下げることをおすすめしています。

#### ●ウイルス対策ソフト等の導入と、ウイルス定義ファイルの最新状態への更新

お客さまご自身におかれましてもウイルス対策ソフトの導入、及びウイルス定義ファイルを最新の状態に更新していただくよう、ご注意願います。

当行インターネットバンキングではフィッシング詐欺※対策として、ウイルスによる不正送金や様々な攻撃よりパソコンを守るフィッシング対策ソフト「SaAT Netizen」を当行ホームページから無料でダウンロードができるようにしています。ご利用いただいている方は、この機会にぜひご利用ください。

※フィッシング詐欺:不特定多数のターゲットに対して、金融機関やクレジットカード会社による正規の通知に偽装したメールを送り、接続リンク上で個人情報を打ち込ませる詐欺。

### お問い合わせ先

三重銀行EBサービスセンター

0120-330-995

受付時間／月曜日～金曜日(祝日を除く) 9:00～17:00